

四辻遺跡 出土遺物



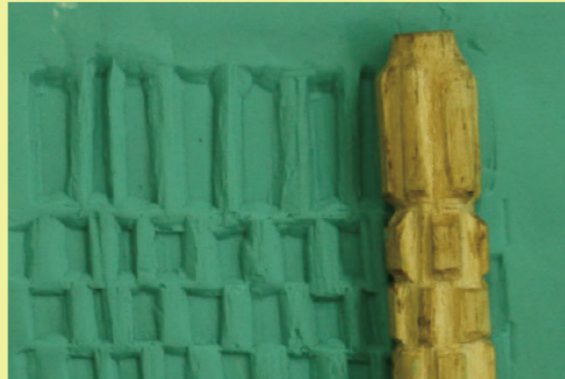
①押型文土器（竪穴建物1出土）



②押型文土器（竪穴建物2・3出土）



③押型文土器（土坑1出土）



④押型文のつけ方（推定）

いずれも押型文（おしがたもん）土器と呼ばれる土器で、県内の縄文時代早期（約8,000～10,000年前）の遺跡でよく出土する土器です。写真④のように刻み目を入れた木の棒を転がして土器の表面に文様をつけたと考えられています。土器はいずれも3～5cm程度の小片ですが、文様は、楕円形や格子目状のものなど様々です。写真②の右上の土器にはススが付着しており、煮炊きなどに使われた可能性がうかがえます。

まとめ

平成27年度から始まった四辻遺跡の発掘調査は今回で終了です。一連の調査では今回みつかったいなべ市内で初めてとなる縄文時代早期の竪穴建物をはじめ、室町時代の地域の有力者の墓（塚墓）、江戸時代後期の耕地開発の際に掘られた地割り溝などがみつかるなど大きな成果がありました。「京ヶ野」と呼ばれ、地域の方に親しまれてきた丘の上には1万年にわたる人びとの歴史が刻まれていたことが分かりました。

遺跡名 四辻遺跡
原因事業 東海環状自動車道建設事業
調査委託 国土交通省中部地方整備局
調査主体 三重県教育委員会
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/index.shtm>
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野454番地
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

東海環状自動車道 発掘調査だより

いなべ編 No.6

三重県埋蔵文化財センター

2019.7.6

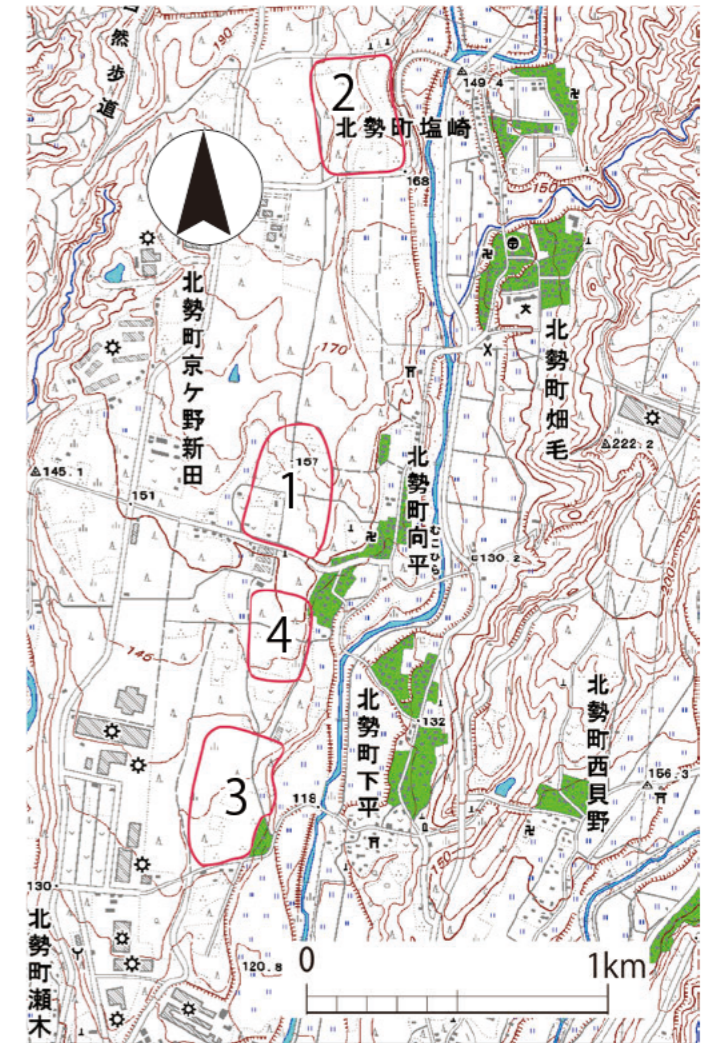
はじめに

三重県埋蔵文化財センターでは、平成27年度から東海環状自動車道建設事業に伴う発掘調査を行っています。

今回発掘調査を行った四辻遺跡（よつつじいせき）は、いなべ市北勢町向平にあります。石器や陶器片が採集されたことから、平成19年度に遺跡として新規登録されました。

四辻遺跡の周辺では、ほかに、空畑遺跡、下平大野A遺跡、下平大野B遺跡など多くの遺跡が確認されています。

四辻遺跡では、平成27年度から発掘調査を行っており、今年度は第4次調査となります。これまでの調査では、室町時代の地域の有力者の墓や江戸時代の溝などがみつっています。また、数点ですが縄文時代早期の押型文（おしがたもん）土器なども出土しています。



四辻遺跡周辺の遺跡

- 1 四辻遺跡
- 2 空畑遺跡
- 3 下平大野A遺跡
- 4 下平大野B遺跡



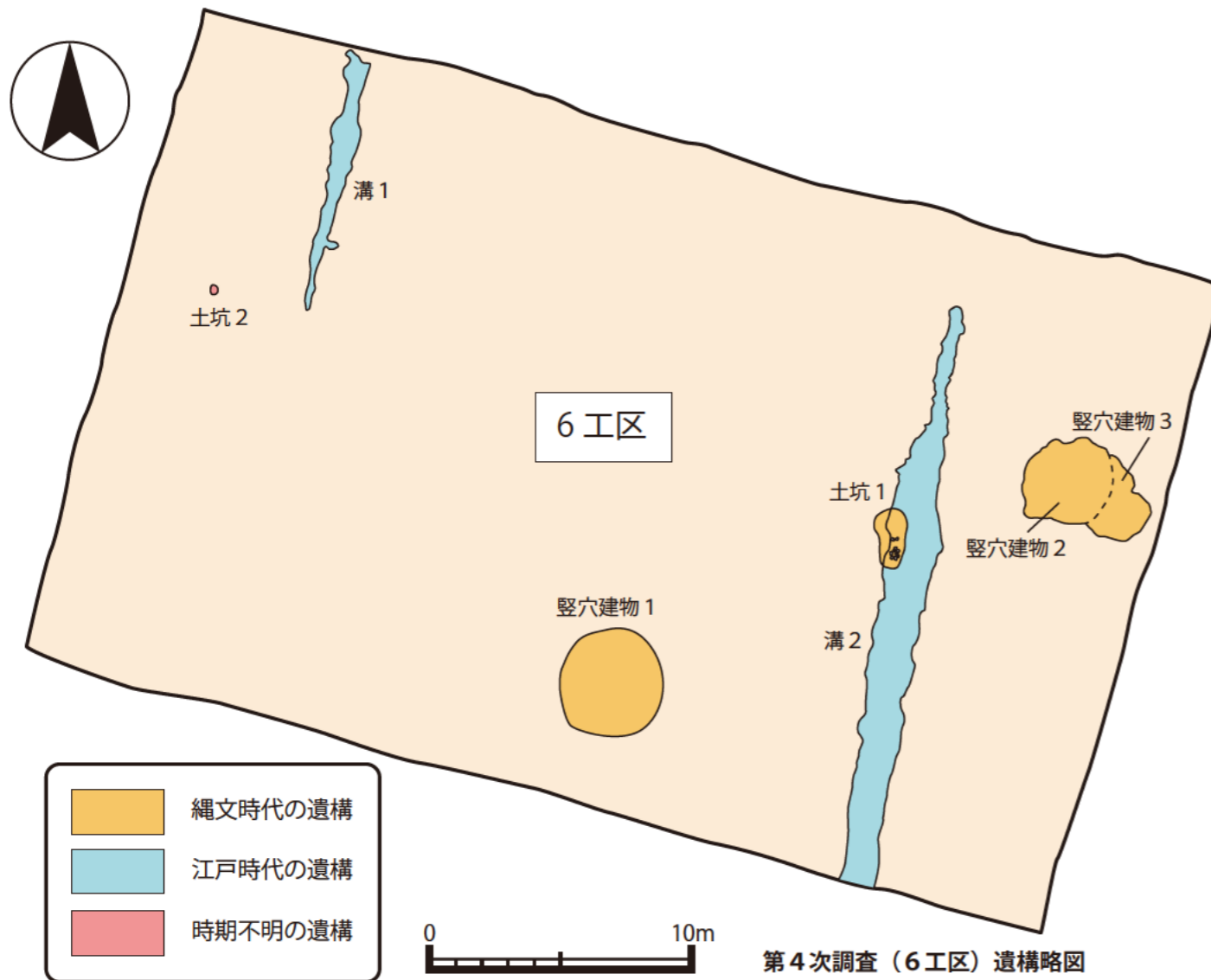
H29年度の調査でみつかった室町時代の墓（塚墓）

見つけた遺構

縄文時代早期（約 8,000～10,000 年前）の竪穴建物が調査区の南側で 1 棟、東側で 2 棟見つかりました（竪穴建物 1・2・3）。竪穴建物はいずれも円形をしており、竪穴建物 1 は直径約 4.5m、竪穴建物 2 と 3 は重なっており、確認できた部分で、竪穴建物 2 が直径約 3.5m、竪穴建物 3 が直径約 2.5m あります。いずれの竪穴建物からも縄文時代早期の土器や石器が出土しました。いなべ市内でこの時期の竪穴建物がみつかるのは、これが初めてです。

竪穴建物 2 の約 6 m 西の位置から長さ約 3 m、幅約 2 m の楕円形の穴が見つかりました（土坑 1）。この穴からは竪穴建物と同じ縄文時代早期の土器が出土し、さらに、穴の底からは 15～20 cm 程度の礫が 10 個見つかりました。礫の位置はおおむねまとまっていますが、意味をもって並んでいるようにはみえないため、ゴミなどとともに不要な礫が投棄されたものと思われる。

そのほか、江戸時代後期（約 200 年前）の耕地開発に伴う地割り溝が 2 条（溝 1・2）と時期不明の小穴（土坑 2）が見つかりました。江戸時代の地割り溝はこれまでの調査でもみつかっており、今回見つかった溝も規模や方向がほぼ同じものです。土坑 2 からは土器の底部片が出土しましたが、風化が進んでおり、時期は特定できませんでした。



竪穴建物 1 完掘状況（北東から）

直径約 4.5m、深さ約 20 cm。中央に向かって浅い皿状に凹んでいます。中央付近に長径約 70 cm、深さ約 20 cm の楕円形の穴が見つかりました。この穴からも竪穴建物と同じ時期の土器片が出土しました。



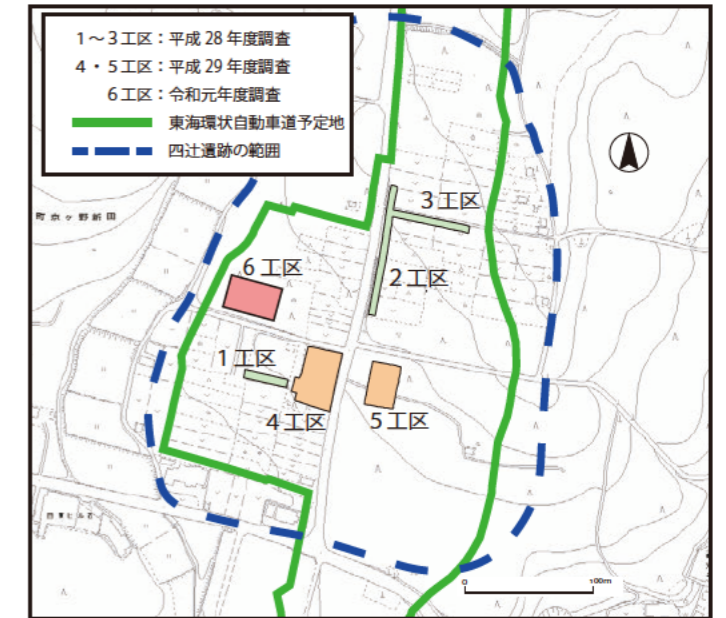
竪穴建物 2（左）・3（右）完掘状況（南から）

2 棟が重なっています。深さはどちらも 10 cm 程度しかありません。後世の耕作などで遺構の上部はかなり削られているようです。



土坑 2 遺物出土状況（西から）

直径約 30 cm、深さ 25 cm。点線内が土器です。



四辻遺跡 調査区配置図

今回の第 4 次調査（6 工区）で四辻遺跡の調査は終了となります。



土坑 1 礫出土状況①（西から）

土坑の上部は溝 2 によって一部が削られていましたが、土坑底面に礫が残っていました。



溝 1 完掘状況（北から）

幅は広いところで約 1.2m、深さは 12 cm ほどの浅い溝です。遺物は出土していませんが、これまでの調査で同様の溝から江戸時代後期の陶器片などが出土しています。